

第11課 「辞書を使っていいですか？」

<調べ学習>

公共の場所における写真撮影や電話使用、喫煙などのルールは、日本と中国で違いがあるかどうか調べてみよう。

全2時間の第1時間目 (62-64p)

	項目	指導例と留意点	指示の例
導 入 15 分	挨拶・点呼	授業開始の挨拶をし、出席をとる。	“同学们好!” “老师好!” “现在要点名。”
	到達目標の確認	今日のポイントを簡単に紹介する。 ★ これから中国語のどんな表現を学ぶのか、生徒にしっかり意識させる。 ★ テーマを板書する。	今日のテーマは「～していいですか」という許可を表す表現です。 授業中に携帯電話を使ってもいいですか? トイレに行ってもいいですか? お弁当を食べてもいいですか? おしゃべりしてもいいですか?
	キーワードの学習 ●巻末の語彙リストを見て書き ましょう。	★ 到達目標を板書し、到達目標とチェックシートを配布する。 ●巻末の語彙リストを見て書きましょう。62p	到達目標とチェックシートに目を通して、第9課で学ぶことを確認してください。
	簡体字の学習 ●気をつけて書きましょう。	CDを流す。 CDを流したあと、ゆっくり模範発音し、リピートさせる。 ★ 有気音と無気音、そり舌音が正しく発音できるかチェックする。 正しく発音できているようであれば、() にピンインを記入させる。 ★ 1語ずつ発音しながら記入させるとよい。 板書して、発音と意味を確認する。 ★ 生徒にピンインを板書させ、チェックするのもよい。 ●気をつけて書きましょう。62p	まずは、今日のキーワードを聞いてください。 聞き取れましたか?一緒に発音してみましょう。 では、() にピンインを記入しましょう。 巻末の語彙リストを参照しましょう。 では、正しく書けているかを板書で確認しましょう。 記入に間違いがないかをチェックしましょう。間違っている箇所は訂正 しましょう。

	<p>ひとこと表現の学習</p> <p>● 1言ってみましょう。</p>	<p>正しい書き順で丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。</p> <p>★ “车” は簡単な漢字であるが、意外に間違いやすいので注意を促す。 ★ 特に2画目を払いにする生徒が多いので注意喚起する。</p> <p>● 1言ってみましょう。63p</p> <p>CDを流す。</p> <p>意味を確認し、CD（もしくは教員）について発音練習させる。</p> <p>許可を表す言葉“可以”に注意を向ける。</p> <p>★ 答えが出たら、“可 以 ～吗?” と板書する。</p> <p>★ kěyǐ bùxíng “可以”と“不行”も板書する。</p>	<p>キーワードが書けたら、「気をつけて書きましょう」を書きましよう。 日本の漢字よりかなり省略されていますね。 画数の少ない漢字ですが、丁寧に書きましよう。</p> <p>63ページの絵を見てください。 まずはCDを聴いてみましよう。</p> <p>何を尋ねていますか。 そうですね、使っても良いかどうかを尋ねています。 発音してみましよう。</p> <p>はい、よくできました。</p> <p>さて、「～してもいいですか」と尋ねる時、共通して使う言葉がありますね。 何という言葉ですか？</p> <p>そうですね。“可以～吗?” ですね！ “可以～吗?” に蛍光ペンで線を引きましよう。</p> <p>このように尋ねられたら、OKの時は“可以”、ダメな時は“不幸”と返事します。発音してみましよう。</p>
<p>展 開 1</p>	<p>発展学習</p> <p>● 何の標識か考えてみましよう。</p>	<p>● 何の標識か考えてみましよう。63p</p> <p>標識を見て、意味を考えさせる。</p> <p>★ 日本の標識のカード等を用意しておき、比較させてもよい。 ★ 意味を確認して、発音練習をする。 ★ “禁止” “请勿” のいずれも禁止を表すことを覚えさせる。</p>	<p>ではちょっと、下の標識を見てください。 何の標識かわかりますか。</p> <p>中国旅行に行ったら、これらの標識に注意してくださいね。</p> <p>発音してみましよう。</p>

10分			
展開215分	<p>会話1の学習</p> <p>● 1辞書を使っていいですか？</p>	<p>● 1辞書を使っていいですか？64p</p> <p>本課の本文は、生徒にとって非常に馴染みのある場面なので、まずCDを聴いて内容を把握させる。</p> <p>CDを聞かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 大まかな内容を把握できているかに留意する。 <p>内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でも構わない。 <p>CD（教師）の後について発音練習と音読練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 音読・発音練習がひととおり終わったら、内容を解説する。 ★ “哎呀!”は驚いた時の表現。「あっちゃー!」。 ★ “可以插词典吗?”本課のポイントの表現。 ★ “不行!”は禁止の表現。“不可以”や“不能”は単独では使えない。 ★ “别~”は禁止の表現。「~しないで」の意味。 ★ “安静点儿”は「ちょっと静かにしなさい」の意味。 <p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に音読練習させる。</p> <p>机間巡視し、必要な生徒には支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ リズムよく読めるように留意する。 ★ できるだけ感情を込めて読めるように留意する。 <p>何組かに発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。 ★ どんどん褒める。 	<p>それでは、今日の会話文に入ります。</p> <p>今回は教室での会話ですね。</p> <p>皆さんにもよく覚えのある内容だと思いますので、まず、CDを聴いてみましょう。</p> <p>どうですか？どんな話をしていたか、わかりましたか？</p> <p>なんだかにぎやかでしたね。</p> <p>では、本文を読んでみましょう。</p> <p>では、ペアワークしましょう。それぞれの役を交代で練習しましょう。後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>では、発表してもらいましょう。</p> <p>誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p>

	<p>応用練習</p> <p>● 1絵を見て話しましょう。</p> <p>簡体字の学習</p> <p>● 気を付けて書きましょう。</p>	<p>● 1絵を見て話しましょう。64p</p> <p>() 内に適当な単語を入れて会話を完成させるよう指示する。</p> <p>★ 63ページのイラストを参考にしながら、() 内に入れる言葉を考えさせる。</p> <p>★ 生徒を指名して、作成した会話文を発表させる。</p> <p>★ 解答を板書する。</p> <p>● 気を付けて書きましょう。64p</p> <p>正しい書き順で丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。</p> <p>★ “査” は「木」の下が「且」ではなく「日」と「一」であることに注意を促す。</p>	<p>では、下のイラストを見てください。 もう何の標識かわかりますね。</p> <p>() に適当な言葉を入れて会話を作ってみましょう。</p> <p>Aさん、どんな会話になりましたか? …… とてもよくできました。</p> <p>Bさん、他にも会話ができましたか? そうですね。</p> <p>最後に“査”という漢字を書いておきましょう。「調べる」という意味ですが、日本の漢字と少し違いますね。 どこが違うかわかりますか。 よく見て練習してください。</p>
<p>ま と め 5 分</p>	<p>まとめ</p> <p>まとめ</p> <p>本文1をCDに合わせて音読する。 ★ 発音、声調、スピード、語調などを意識させる。</p> <p>次回の授業内容の予告をする。</p> <p>挨拶</p>	<p>まとめ</p> <p>本文1をCDに合わせて音読する。 ★ 発音、声調、スピード、語調などを意識させる。</p> <p>次回の授業内容の予告をする。</p> <p>授業終了の挨拶をする。</p>	<p>では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。</p> <p>次回は第11課の続きをやります。 それでは、今日はここまで。</p> <p>“同学们,下次再见!” “老师,再见!”</p>

<板書例>

第11課	
1、 テーマ	「～でもいいですか」
2、 目標	「携帯電話を使ってもいいですか」が言えるようになる
3、 キーワード	(1～8の各ピンイン・簡体字・意味を書く)
4、 筆順	车 (筆順を示す) 查 (筆順を示す)
5、 文型	可以 ～吗？ / 「～ でもいいですか」

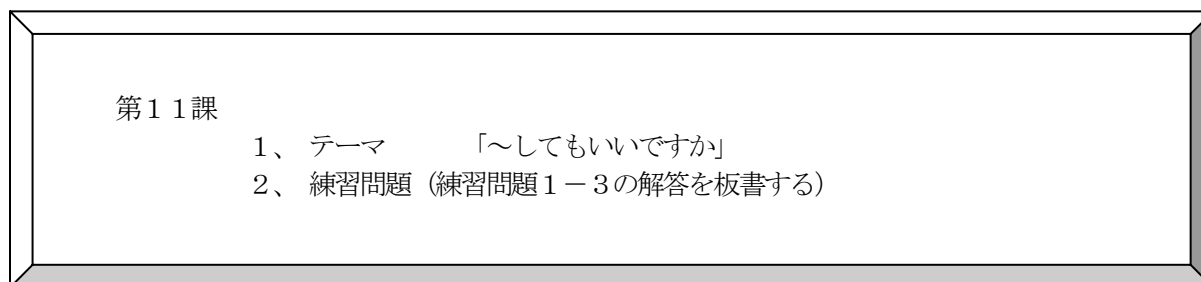
全2時間の第2時間目 (65-67p)

	項目	指導法と留意点	指 示
導 入 10 分	挨拶・点呼 ウォーミングアップ ● 1言ってみましょう。 復習 ● 1辞書を使っていいですか？	挨拶と点呼をする。 ウォーミングアップ ● 1言ってみましょう。63p リズム良く一緒に発音してみる。 全員でひととおり練習してから、一列ごとに発音させる。 復習 ● 1辞書を使っていいですか？64p 本文1のCDを聴く。 コーラスリーディングさせる。	“同学们好!” “老师好!” “现在要点名。” それでは 63 ページの「1言ってみましょう」() に言葉を入れて発音しましょう。 列ごとに発音してみます。リズムよくどうぞ。 続いて、前回学習した内容のCDを聴いてみましょう。 では、皆で読んでみましょう。 思い出しましたか? 許可をもとめる“可以~吗?”を勉強しましたね。
展 開 30 分	会話2の学習 ● 2ペットOK?	● 2ペットOK?65p 会話の場面を紹介する。 CDを聞かせる。 ★ 大まかな内容を把握できたか。 内容を確認する。 ★ 教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でも構わない。 発音練習と音読練習をする。 ★ “带来”は「~を持ってくる、~を連れてくる」の意味。 ★ “听说”は「~だそうだ」という伝聞を表す。 ★ “一般是”は「一般的には、普通は」の意味。 ★ “短信”は携帯メールの意味。動詞は“发”「発する」を使う。 ★ 電車内のルールは線によって多少異なることもあるので、生徒が利用する電車の様子について中国語で質問し、答えさせてもよい。	今日は新しい本文に入ります。 引き続き「~してもいいですか」という表現が出てきます。 李さんが寺本に日本での習慣やルールを尋ねているようですから、よく聴いてみましょう。 どうですか? どんな話をしていたか、わかりましたか? では、内容を見ていきましょう。

<p>開</p>	<p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に音読練習させる。 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 ★ リズムよく読めるように留意する。 ★ できるだけ感情を込めて読めるように留意する。</p> <p>何組かに発表させる。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。 ★ どんどん褒める。</p> <p>運用練習 ● 1絵を見て（ ）内の語を入れ替え、例にならって対話しましょう。</p> <p>選択肢を順次（ ）内に入れながら発音練習をする。</p> <p>生徒二人で絵を利用しながら会話させる。 ★ この語群の単語は習得語彙ではなく認識語彙であるので、覚えなければならないものではなく、練習に使えば良い。 ★絵カードを利用して、さらに発話練習を広げてもよい。</p> <p>数名の生徒を指名して自由に答えさせる。</p> <p>まとめの学習 ● 練習問題1</p>	<p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に音読練習させる。 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 ★ リズムよく読めるように留意する。 ★ できるだけ感情を込めて読めるように留意する。</p> <p>何組かに発表させる。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。 ★ どんどん褒める。</p> <p>● 1絵を見て（ ）内の語を入れ替え、例にならって対話しましょう。65p</p> <p>生徒二人で絵を利用しながら会話させる。 ★ この語群の単語は習得語彙ではなく認識語彙であるので、覚えなければならないものではなく、練習に使えば良い。 ★絵カードを利用して、さらに発話練習を広げてもよい。</p> <p>●練習問題1 66p</p> <p>テキストに直接記入させる。</p>	<p>では、ペアワークしましょう。それぞれの役を交代で練習しましょう。後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>では、発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>下のイラストを見てください。 ペットはどうでしょうね。どこがOKでどこがダメなのか、考えながら会話してみてください。</p> <p>まず、発音練習しましょう。</p> <p>では、二人で会話してみてください。 ○○さんと△△さん、どうぞ。 (以下同様に)</p> <p>たいへんよくできました。</p> <p>それでは練習問題をやってみましょう。 66 ページを開いてください。 李さんと寺本さんが映画を見に行ったようですね。</p> <p>絵を見ながら、会話を完成させてください。</p>
----------	--	--	---

	<p>● 練習問題2</p>	<p>★ 適宜机間巡視し、必要があれば支援する。</p> <p>CDを流して、各自解答があっているかどうかを聴き取らせる。</p> <p>★ 解答を板書する前に音声で確認させる。 ★ 練習問題の解答は必ず板書する。 ★ 漢字の間違いないか、注意を促す。</p> <p>★ 生徒に答えを板書させ、チェックしてもよい。</p> <p>● 練習問題2</p> <p>★ 「ここで～してもいいですか」という表現と、答え方を覚えさせる。 ★ 机間巡視し、発音指導をする。</p>	<p>できましたか？ では、CDを聴いてみましょう。</p> <p>どうですか、ちゃんと書けていましたか？ 黒板を見て、間違いがないかチェックしましょう。</p> <p>はい、みなさん正しく書けましたか？</p> <p>では、67ページを見てください。 ペアを組んで、イラストを参考に、二人で会話練習をしましょう。</p>
<p>ま と め 5 分</p>	<p>まとめ ● 練習問題3</p> <p>挨拶</p>	<p>まとめ ● 練習問題3</p> <p>CDを流し、質問に答えさせる。</p> <p>★ 全員で答えさせても、指名してもよい。 ★ 指名した場合には、別の生徒に通訳させてもよい。 ★ CDの質問を板書する。</p> <p>授業終了の挨拶をする。</p>	<p>それでは、第11課のまとめとして、CDの質問に答えてください。</p> <p>みなさん、ちゃんと聴き取れましたか。 それでは今日の授業はこれで終わります。 チェックシートを記入して提出してください。</p> <p>“今天的课就到这儿。同学们,下次再见。”“老师,再见。”</p>

<板書例>



<宿題>

第12課のキーワードのピンインの記入、漢字練習を宿題としてもよい。
その場合、ウォーミングアップの段階で作業ができているか確認を行う。